東京府下前野村
經德寺の
和尚へ
一入り
任居をして居られし三日ゐ
見へぬかへ不思儀と近所ゑ寺へ
まゐり和尚の居間を引明ゑ
御經の德もゆゑある寺号
自得とゑんの上ゑて血ゑそゝ
死んで居る眼ゑ目玉ゑとれゝ
手も足も喰ひゑられゑ親指へ疵ゑ
落してゐる樣子ハ頓死でもあるゝを
執程ゞ肉を食ゑゝと思ゑ情あゝ往生遂られゝ
明治八年五月の頃ハ讀賣第百号ニ出ル
文花堂記
大阪錦画日々新聞紙 第四十七号